

3. 上記のうち真の塩性植物と称すべきものはハマヨモギ、ハマサジのみである。
4. PHは塩性植物ほど中性に近い値を示す。
5. Cl⁻含有量は塩性植物ほど大である。
6. 根よりも葉に於いて Cl⁻含有量は大である。

参 考 書

- 中野治房 (1943): 海岸での植物研究
 中野治房 (1948): 植物生理生態実験法
 丸 善 (1945): 無機化学全書Ⅱ, F. cl. Br. I.
 三省堂 (1943): 日曜日の科学者

故 大 上 宇 一 先 生 寄 稿 論 文 目 録 (Ⅱ)

建 部 惠 潤

(10) 動物學雜誌

- 116号 (明治31. 6) 播磨産陸生軟体動物報知
 139号 (明治33. 5) 播磨蝶類報、播磨網干港の採集
 141号 (明治33. 7) 播磨産亀類、播磨室津港採集品、山鯨とは何ぞや
 143号 (明治33. 9) 中国産フブ介類、コブタマイマイ (新称)
 144号 (明治33.10) 伯州海辺の貝類
 146号 (明治33.12) 日本蝸牛類の新和名
 148号 (明治34. 2) アカイシガメ畧報、関西フブ貝類報知
 150号 (明治34. 4) 作州及伯州採集蝸牛類
 152号 (明治34. 6) 播磨産介殼虫科、日本産蝸牛類
 155号 (明治34. 9) 播磨産象鼻虫科畧報、播磨産天牛科
 156号 (明治34.10) 播磨産金龜子科、播磨産金花虫科、播磨産步行虫科、播磨産天牛科追報、播磨産朽木虫科
 157号 (明治34.11) 播磨産甲虫報知、播磨産步行虫科追報
 158号 (明治34.12) 白蠟虫の雌に就て、螢火小記
 160号 (明治35. 2) 因州湖山池の動物小記、因州浦富の貝類、陸前産貝類、播磨産ナメクジ類、大ゲジゲジ
 161号 (明治35. 3) クサギの虫、貝殻虫参考目録
 167号 (明治35.10) 播磨産淡水魚類

播磨甲虫類報知 (1)

- 169号 (明治35.11) 播磨甲虫類報知 (2)
 171号 (明治36. 1) 同上 (3)
 172号 (明治36. 2) 播磨揖保郡香島村蝸牛類、2, 3, 昆虫の分布に就て
 173号 (明治36. 3) 播磨産鳥類雑記、ハマダラ蚊の減少原因
 174号 (明治36. 4) 播磨産薬蜂科報知
 175号 (明治36. 5) 同上 (2)
 185号 (明治37. 3) 日本陸貝目録評
 206号 (明治38.12) 播磨産蛇類に就て

(11) 博物學雜誌 東京

- 11号 (明治32. 4) 山茶黄科うりのき

- 12号 (明治32. 5) 播磨産捕虫草及びその他
 13号 (明治32. 6) 博物学古書案内
 15号 (明治32. 9) 同上 (続)
 20号 (明治33. 2) 植物漢名誤訳
 21号 (明治33. 5) 讃岐直島海浜植物其他
 22号 (明治33. 6) 播磨産羊歯科植物、貝類雑考
 24号 (明治33.11) 伯耆大山の植物小録、大山と牛馬、播磨産莎草科
 26号 (明治34. 5) 播磨産稀なる植物
 28号 (明治34. 8) 博物学古書案内
 30号 (明治34.11) 因幡吉岡の植物
 31号 (明治35. 1) 播磨産淡水魚類小記
 32号 (明治35. 4) 貝類の用途、るりもちげ (函説)
 35号 (明治36. 2) 作州行者山採集
 42号 (明治37. 1) 支那博物学の進歩を促す方法に就て
 44号 (明治37. 4) 救荒植物と軍人植物
 53号 (明治37.12) 今蘭山を訪問しての記
 54号 (明治38. 1) 同上
 57号 (明治38. 4) 同上
 60号 (明治38. 7) 播磨採集紀行
 62号 (明治38. 9) 今蘭山を再訪して
 66号 (明治39. 1) 同上
 67号 (明治39. 3) 同上
 72号 (明治39. 7) 同上
 75号 (明治39.10) 今蘭山を後訪して聞書
 78号 (明治40. 1) 同上
 82号 (明治40. 5) 同上
 83号 (明治40. 6) 播磨産升石と屏風岩採集
 90号 (明治41. 1) 今蘭山を後訪して聞書
 93号 (明治41. 4) 昨年中1, 2雑誌の疑点
 94号 (明治41. 5) 播磨産禾本科報告
 99号 (明治41.10) 但馬妙見山の植物
 101号 (明治41.12) 播磨瓦山の植物採集
 102号 (明治42. 1) 今蘭山を後訪して聞書
 106号 (明治42. 5) 播磨産普通蜘蛛の畧解
 107号 (明治42. 6) 西播の植物採集
 108号 (明治42. 7) 播磨産普通蜘蛛の畧解 (続)

(12) 昆虫世界 岐阜

- 29号(明治33.1) 播磨昆虫雑記
- 55号(明治35.3) 播磨の昆虫に就て
- 60号(明治35.8) 播磨地方の寄生蜂類に就て
- 61号(明治35.9) 同上
- 70号(明治36.6) 誘蛾燈は將して螟虫駆除に有効なるか
- 112号(明治39.12) 播磨産甲虫類
- 115号(明治40.3) 同上
- 116号(明治40.4) 同上
- 117号(明治40.5) 同上
- 118号(明治40.6) 同上
- 179号(明治45.7) 播磨の白蟻群飛期
- 183号(大正元.11) アサケトンボに就て

(13) 貝類雑誌 京都

- 2号(明治40.2) 介類雑誌発行に就て
- 3号(明治40.3) サザエと1種の環虫類との共棲
- 5号(明治40.5) 古風土記中の貝類記事
- 6号(明治40.6) 陸貝採集小説
- 8号(明治40.8) 同上
- 11号(明治40.11) 播磨産水産軟体動物類(1)
- 2巻1号(明治41.1) 初夢
- 2巻3号(明治41.3) 貝類を記したる書物
- 2巻6号(明治41.6) 播磨産水産軟体動物類(2)
- 2巻10号(明治41.10) 同上(3)
- 3巻1号(明治42.1) 飯島博士の新称せられし陸貝の和名に就て
- 3巻3号(明治42.3) 座禅草と蝸牛
- 3巻4号(明治42.4) 本紙の休刊に就て
- 4巻1号(大正4.8) 介類雑誌の続刊を祝して希望を述べ

(14) 理學界 東京

- 5巻12号(明治41.6) 蕨苔類積和名
- 6巻1号(明治41.7) 播磨童謡と俗語
- 6巻4号(明治41.10) 播磨生物方言(動物部)
- 6巻5号(明治41.11) 蜘蛛類の眼形と其位置
- 6巻6号(明治41.12) 播磨俗用植物
- 6巻8号(明治42.2) 本郷草播磨にも産す
- 6巻12号(明治42.6) 錯覚の1例
- 8巻6号(明治43.12) 同上、落雷せざる村に就て
- 8巻8号(明治44.2) 佐用の朝霧に就て
- 8巻9号(明治44.3) 猪の性質に就て

(15) 博物之友

- 50号(明治41.3) 女郎蜘蛛に就て
- 52号(明治41.5) 播磨産蕨苔類目錄

(16) 教育品新報 東京

- 7号(明治44.8) 蝸牛類蒐集に就て

(16) 蜜蜂タイムス 岐阜

- 17号(大正3.6) 4月中旬播磨の開花植物

(17) 養蜂俱樂部 紀州

- 17号(大正3.6) 晩春初夏に咲き出る花
- 40号(大正5.5) 養蜂を始むるには其他の蜜源植物を第1に調査し置くべし
- 43号(大正5.8) 副業養蜂は發達すべきか
- 44号(大正5.9) 犠牲論を讀んで愚見を陳ぶ
- 46号(大正5.11) 不徹底なる大上生より
- 47号(大正5.12) ツメレンゲ

(編者云、大正6年5月以前に3回投稿せるも目錄中これを欠く。本誌散失し不詳)。

- 5巻7号(大正6.7) 和名に就て凡虱生君の端書に答ふ
- 5巻10号(大正6.10) 再び端書に答ふ
- 5巻11号(大正6.11) 秋の養蜂植物山ハツカに就て

(17) 養蜂指針 信州

- 13号(大正3.6) 播磨と信濃との春咲植物の差異、甘露子に就て
- 14号(大正3.7) 5月中に見る播磨の花、孫分封の王台と巣礎の関係、鉄線式雄蜂駆除器は蜂王外出す
- 15号(大正3.8) 5月より6月に咲残る播磨の花、日本養蜂外史
- 16号(大正3.9) 播磨植物(6月7月)
- 3巻1号(大正4.1) 播磨及信濃共春咲花
- 3巻2号(大正4.2) 養蜂閑話(1)
- 3巻3号(大正4.3) 同上(2)
- 23号(大正4.4) 同上(3)
- 24号(大正4.5) 同上(4)
- 25号(大正4.6) 同上(5)
- 26号(大正4.7) 蜂蜜の価格に就て
- 27号(大正4.8) 昨年中駆除せし害虫

(18) 養蜂之研究 長野養蜂研究会

- 2巻2号(大正4.2) 養蜂植物の研究に就て
- 2巻3号(大正4.3) 有毒蜂蜜に就て
- 2巻4号(大正4.4) 有毒蜜源研究備考(1)
- 2巻5号(大正4.5) 同上(2)

(19) 養蜂之友

- 62号(大正3.7) 古書に現れたる蜜蜂
- 72号(大正5.1) 播州通信(4月)
- 73号(大正4.6) 播州蜂信(5月)
- 74号(大正4.7) 同上(6月)
- 75号(大正4.8) 同上(7月)
- 76号(大正4.9) 同上(8月)
- 77号(大正4.10) 同上(9月)

(20) 養蜂いろは新聞 岐阜秋田屋

- 7号(大正4.8) 8月の蜜源植物

- 8号(大正4.9) 養蜂台帳には如何の事を記入すべきか
 11号(大正4.12) 蜜源少き地方には日本種が適するか
 12号(大正5.1) 2.3養蜂植物に就て
 16号(大正5.5) 紫雲英の害敵 スマメノテツボウに就て
 19号(大正5.8) 和洋種の比較
 21号(大正5.10) 有毒蜜に就て
 22号(大正5.11) 四播地方の養蜂実況
 25号(大正6.2) 再び有毒蜜に就て、中国辺の採蜜に就て
 27号(大正6.4) 三度有毒蜜に就て
 30号(大正6.7) 播磨より
 31号(大正6.8) 無王の分封群は逃去せず
 32号(大正6.9) 越夏用養蜂植物備考
- (20) 養蜂界 愛知 養蜂界社
- 80号(大正4.8) 我養蜂場の地理的研究
 82号(大正4.10) 我養蜂場の害敵
 83号(大正4.11) 我養蜂場越冬消費蜜
 84号(大正5.1) 蜜源少なき我養蜂場
 91号(大正5.8) 播磨蜂信

- 92号(大正5.9) 白雲木とマツグミの蜜
 94号(大正5.10) 蜜峰草とキツネノマゴの蜜
 95号(大正5.11) 播磨蜂信
 97号(大正6.1) 養蜂家の初夢
 103号(大正6.7) 採蜜期短き土地の收蜜法に就て
 104号(大正6.8) 播磨蜂信
 105号(大正6.9) 我地方蜂蜜の販路に就て
 108号(大正6.12) 熱心生に答ふ
- (21) 實業の養蜂 岐阜 松原屋
- 1号(大正5.2) 副業として着手の養蜂の費用
 4号(大正5.5) 初心の間の分封の色々
 5号(大正5.6) 同上
 7号(大正5.8) 各地の養蜂統計を見て
 11号(大正5.12) 養蜂雑報
 14号(大正6.2) 同上(2)
 16号(大正6.4) 播磨蜂信
 17号(大正6.5) 同上
 18号(大正6.6) 養蜂駄目談に就て
 21号(大正6.9) 凡頼生君に答ふ
 22号(大正6.10) 養蜂雑記
 23号(大正6.11) 副業に就ての養蜂 (終)

(81頁より続く)

⑩ 戦前に四国へ出陣の機会に小松島の築田氏を訪ねた氏は悠々自適自然を楽しんでいる方で沢山の盆栽を作り出している。中にも、ニシキマツと真柏の盆栽に入神の作がある。何千という多種多様の盆栽の中に断然光っている一品、それは鈴木多平さん(真柏作りの権威)から数年前に譲りうけた逸品で、此の頃でも数万円の札付のものであつた。築田氏の之についての話の一節……二、三年前育ての親の鈴木さん(当時七十七)が突然やつてきたが、うちへははいらす場内を見渡して真先に自についたのが手塩にかけたあの真柏、つかつかと傍まですりよつて、生みの我子にでもいうように「おゝおゝそくさいでいてくれたの一、おまえこゝで養つてもろてたか！よう無事にいてくれたの

一」と繰返し、くりかえし話をして、しばしそこを離れなかつた……何という美しい対面だろう。物と心の至純なるものゝ接触、美しさの極みであると感心した。

灘高 大浦茂樹

⑪ 改名の辯、1951年の年頭に當つて改名の御挨拶を致します。環境が変わると肉体にも精神にも変化があります。昨夏坂越へ行つた時に、ふとした事から、親の付けた名は幼児につけたものだから一人前になつたら自ら名を変えるのがほんとうだと気づき、(青虫が、蝶と変るように)頭でつかちで不安定なものと名に喜び多い此の世を送り度いと悦の字を加え正悦(マサヨシ)と、改名というよりは名のつき足しを致した次第です。

灘高 川崎正悦

発行所	兵庫縣生物学会	印刷所	高田印刷紙器工廠 神戸市長田区西尻池町五丁目一三 電話須磨②一六三番	印刷人	高田一市	會計	澁谷久雄 振替番号神戸壱七五〇壱番	同	古川博二	編輯集者兼室井綽	神戸市長田区神樂町一丁目 神戸市立神樂小学校	昭和二十六年一月十五日印刷 昭和二十六年一月二十日発行
-----	---------	-----	--	-----	------	----	----------------------	---	------	----------	---------------------------	--------------------------------

【非賣品】